

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

愛和建设株式会社

山形市にある愛和建设株式会社の蜂谷要さん取材しました！
蜂谷さんは東北芸術工科大学を卒業した後、2021年に入社しました。
現在は設計部で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。



基本的には設計の仕事をしています。図面を書き、それに対して必要な資材の数量を出します。すると、平米数に対して単価がどのくらいになるのかがわかるので、見積もりを作って営業担当者に提出する、というのが一連の流れです。

さらに、図面が決まってから、行政機関に提出する確認申請を行います。確認申請用の図面の場合では、高さや敷地の高低差も記載しないとイケませんので、実際に現場に行って測量をすることもあります。

また、建物ができた後のパースも作成しています。お客様は、建物の外観や色が実際にどうなるかを気にされるので、「こういう色だとこういう建物になりますよ」ということを3Dで確認できるのが、パースです。

——蜂谷さんはこういった建物を担当されるのですか？

お客様には一般の住宅を建てる方と、会社の建物を建てる方がいて、私の場合はどちらかというと会社の建物を建てるお客様が多いです。当社が得意とする軽量鉄骨だと、事務所とか倉庫、工場、店舗などに使われることが多いので、そういったお客様がメインです。

——入社する前から建築関係を学んでいたのですか？

そうです。高校は山形工業高等学校建築科で、大学は東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科で学びました。



——ということは、建築関係のお仕事がしたいとずっと思っていたのですか？

祖父がもともと大工をしていたので、建築を学んでみたいなという気持ちはありました。まず高校で建築を学んでみて、そこで好きになるか嫌いになるかを確認してみて、実際に仕事にするかを決めようと思っていました。それから建築が学べる大学が県内にあったので進学しました。



——若いときから将来のことをしっかり考えていて素晴らしいですね！

高校・大学で学んできたことが、実際に入社して活きたと感じましたか？もし会社に入ってからギャップを感じたことがあれば教えてほしいです。

学校で学ぶ事柄は、二級建築士になるための勉強という部分があり、高校の時は図面を手書きで書くとか、施工※1の勉強をしました。教科書には建設業で役立つことが結構書いてあるので、勉強が仕事に活きていると思います。

でも積算※2に関していうと、高校の学習内容にはありません。高校では自分で少し勉強してみたので

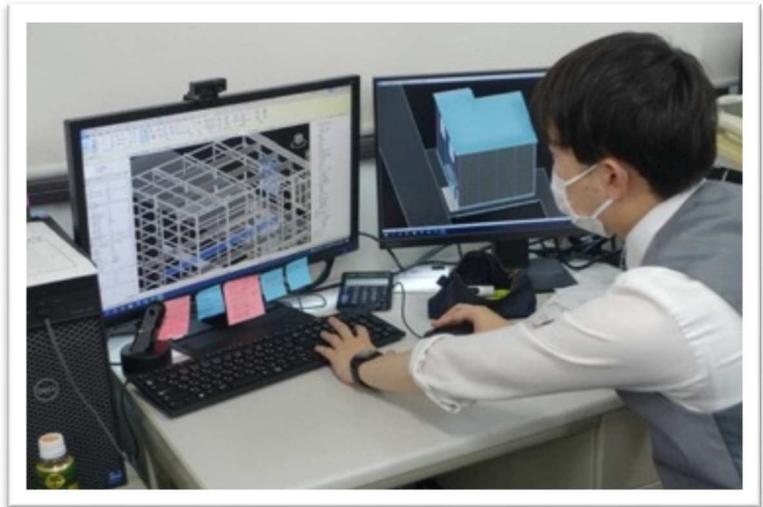
ですが、計算が合わなかったら諦めるという程度のものでした。ですが社会人になると、責任を持って、積算が合うまでやらないといけません。

大学と会社で大きく違うと思ったところだと、私の学科ではいろいろなプランや形の平面図を自由に考えて試行しましたが、会社に入るとあまり自由な形はできなくなります。構造上、制限が出てくる場合もあるからです。そして、お客様の大切なお金を預かっているからこそ、お客様のご希望に合ったプランを出すのが最優先になります。「お客様の立場にたつ」大事さを日々、仕事をしながら学んでいます。

現在、大学でも学んだ「BIM」というソフトを使っているので、経験が活きていると思います。BIMとは、ビルディング・インフォメーション・モデリングの略で、3次元で部材を組み合わせていくとパースが完成し、さらに部材一つひとつに高さ・幅・厚み・金額といったいろいろな情報が入られます。建築物がどういう材質で作られているのかといった情報が集められて、それらを統括して最終的に組み上げられるソフトがBIMです。

※1 施工：設計図等をもとに建築物を作り上げること。

※2 積算：設計図から材料や数量を計算し、建築に必要な工事費を算出すること。



(2) 職場編

——高校・大学を山形で過ごしてきて、山形県内の企業に就職しようと思ったのはいつですか？

大学4年の時ですが、当時は仙台か山形かで迷っていましたが、最初は仙台で一人暮らしをしてみたいなと思っていたのですが、自分が出て行ってしまうと実家には母と祖母しかいなくなるので、それはさすがに心配だと思い、山形に残ることにしました。あとは、都会がそんなに好きではないというのもありました。人混みがあまり好きじゃないので。

——山形県内にも多くの建設会社がありますが、その中で愛和建设を選んだ決め手はありますか？

昔からテレビCMが流れていて、自分の中では知名度があったので、愛和にしよう決めました。あとは安定感というところで決めました。



——他の建設会社と比べて、愛和建设はここが違うというポイントはありますか？

愛和建设では、会社の隣にグループ会社の Y.D.K の木工場があって木製の特注家具を作ったり、カネックスホームという注文住宅部門があったりします。自分は今、軽量鉄骨造の建物の図面を書く部署にいますが、もしちょっと合わないなとなったら、社長と話し合ったうえで、家具や住宅の方に異動することもできます。他社さんは、鉄骨やコンクリート造一本でやっている感じのところが多いのですが、愛和建设は業務の幅があるところがすごく良いなと思います。ですが、入社する前は住宅や家具もあると分からなくて、入社してからすごくびっくりしました（笑）。

——入社する前の愛和建设へのイメージと入社した後のイメージのギャップはありましたか？

ギャップはあまりないですね。社員の皆さんも優しくしてくれるので、CMでみた通りかなと思います。ただ思っていたよりも、設計部の規模が小さいのはびっくりしました。自分を含めて3人で設計をしています。初めはもっと設計の人数がいるのかなと思っていましたので、そこがギャップですね。

——入社してからの研修の内容はどのようなものでしたか？

研修の内容としては、まず社会人としてのマナーを本社で学びました。外部のセミナーにも行きました。

設計の部署に入ってから、図面を書くところから研修を受けました。1ヶ月目は書いた図面を上司にチェックしてもらい、悪かったところなどを直していきます。積算の研修だと、プランを用意してもらい、そこから平米数や壁の面積を拾い出したものをチェックしてもらいました。確認申請の手続きについては上司に教えてもらいながらやりました。



——研修の後は、すぐにお客様の案件を担当するのですか？

入社してから2ヶ月程度は研修をしていました。7月くらいからプランを書き始め、上司にチェックしてもらってフィードバックをもらいながら進めるようになりました。

——入社するときは、設計担当ということで入社されたのですか？

違いました。最初は現場の方に入りたいと希望していました。なぜかという、現場を知らないで設計は書けないと個人的に思っていたからです。

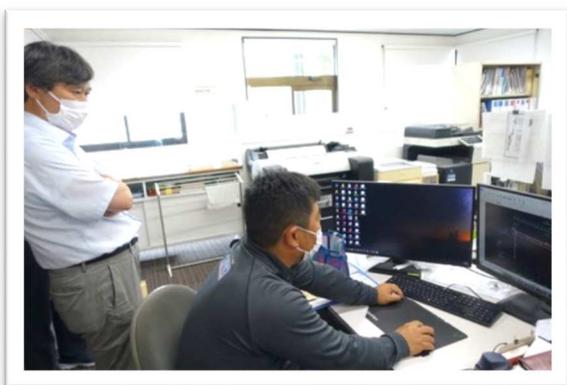
ですので、「現場でお願いします」と言ったのですが、「設計をやるように」と言われたので設計をやっています（笑）。設計をやるのだったら、最初から設計をやった方が良いという考えだと思います。

——これからのキャリアも設計のプロとしてやっていくことになりますか？

そうですね。先輩のなかには設計から住宅の現場に行った方もいます。ですが、今指導を受けている常務は、30年くらい設計一本でやっています。

——設計のプロになるために、挑戦したいことはありますか？

まずは二級建築士を取るところからです。いずれは一級建築士も取りたいなと思っています。最近、給与の資格手当の金額がすごく上がったので、なるべく資格は取っていきたいと思います。一級建築士だと月に8万円も上がりますので（笑）。



（広報の安彦さん）二級建築士でも月に2、3万円上がります。当社で働くのが嬉しいと思ってもらいたい、資格取得の評価を高めていきたいというのが社長の考えで、この4月から給与制度が変わりました。意欲が高まりますよね！

——利用している福利厚生制度はありますか？

使ったことはありませんが、ナイスサポートという制度がありまして、スタバのチケットが無料になるなどいろいろ特典があります。

(広報の安彦さん) 他には、結婚祝い金、子育て・出産祝い金があります。4月の給与改定で、男女関係なく子ども一人当たり月に1万円が支給されるようになりました。

男性の育休も取りやすくなっていて、既に3、4人ほど取得しました。建設業界は男性が多めになりますが、社長が「子育ては大事だから、男性も子どものそばにいてあげなさい」という考えで、子どもが生まれた社員には「じゃあ、いつから育休とる？」と声をかける、とても理解のある方です。福利厚生は今後も充実させていこうと取り組んでいます。

——社長さんがそう仰って下さるととてもいいですね。4月から大きく変わったのはなぜですか？

(広報の安彦さん) 時代のニーズに合わせなければいけない、コロナ禍で会社としてできる社員還元をしなければいけない、という社長の考えで、いろいろな規則の見直しを図りました。例えば、社員にはもともと制服がありました。業務によってオフィスカジュアルな格好ができるようになりました。サステナブルな会社になるために、SDGsにもどんどん取り組んでいきます。



———そういった取組は社長さんが考えて見直すのか、社員の方から声を上げているのか、どちらですか？

お互いに、ですね。年に2回、自分たちの意見を伝える社長面談があります。

自分が出したアイデアを、社長が実現してくれたこともあります。Y.D.K が作る家具は注文家具ですが、そのパンフレットをカネックスで住宅を作るお客様が見られるように置いておけば、家具も買ってくれる方も増えるのではないかと意見を出しました。そうしたら本当に社長がやってくれたので、すごくびっくりしました。

———蜂谷さんから見て、愛和建设の雰囲気はどうですか？

山形市にある本社と、ここ（中山工場）で違いますね。本社だと、緊張感がある印象です（笑）。中山工場だと、常務が結構いろいろな話をしてくれる方なので、和やかです。でも怒られるときは怒られます（笑）。

———コロナで業務に影響が出ている部分はありますか？

リモートワークになって業務の効率は良くなったところがあります。これでも仕事できるんだ、という発見がありましたね。

本社の設計部門と BIM のパースの打ち合わせをすることがよくありますが、わざわざ移動することなく打ち合わせができるようになりました。そこにリモート会議をするための個室があります。



———自宅からのリモートワークはありますか？

（広報の安彦さん）家族を看病したり、幼稚園が休園になったりという社員には自宅での仕事をお願いしています。会社も臨機応変に対応してくれます。

(3) ある日の過ごし方編

●8:30 【出勤】

出勤したら、15分間社内の掃除をします。



●09:00 【業務開始】

依頼書を見て、プラン・見積を進めます。

●12:00 【お昼休憩】

デスクでお弁当を食べます。

●13:00 【午後始業】

常務にプランと積算のチェックを受けます。

緊張します……。

建築確認の申請や測量に行くこともあります。



●17:30 【退勤】

退勤後は家に帰って趣味に浸ります！



(4) むらやまでの暮らし編



——山形に残って良かったことはありますか？

実家暮らしなのでお金がかからないところと、ラーメンが好きなのでラーメンが美味しいところで生活できる場所です(笑)。通えるラーメン屋さんがあるところがいいですね。

——どこのラーメンがお好きですか？

山大医学部の近くにある「ラーメン金子」です。二郎系のお店です。おいしいのでぜひ行ってみてください！

——逆に、山形に住んでいて不便なところはあるですか？

コンビニが遠いことです。車移動が多いので、ガソリン代がかかってしまうことですね。コロナ禍なので、電車に乗らなくていいのは良いですが。

あとは、雪ですね。朝早く起きて雪かきするので、そこはもう本当に嫌ですね(笑)。

——試験の勉強でお忙しいと思いますが、お休みの日はどう過ごしていますか？

家の中でだらだらしていることが多いです(笑)。今はちょっとお休みしていますが、日曜には専門学校で勉強があるので、朝10時から17時まで一日中勉強していました。休みの土曜日にも図書館で勉強していました。休日を普通に過ごすときには、ラーメンを食べに行ったり、友達と遊んだりが多いですね。



(5) まとめ編

——今後こういう仕事をしてみたい、という目標はありますか？

上司が担当しているような、大きな仕事をやっていければいいと思っています。結構大きい工場の案件もあるので、建築士の資格を取れば特殊建築物の検査にも行けるようになります。

あとは、BIMをもっと活用していこうという流れがあります。今はまだ一部の図面を出すのに使うくらいなので、もっと日常的に使えるようなレベルにしていきたいという目標はあります。実際、施工の現場にモデリングしたパースを持っていく会社もあります。設計の場でちゃんと使いこなせたら、施工にも持って行けるようにしたいと思っています。

——自分の家を自分で設計したいという夢はありますか？

それは固いです（笑）。今の家は築30年くらいの日本家屋なので、目標としては、今の家を模型にして、図面をもう1回作って、そこから自分で設計して建てるところまでしたいと思っています。できるかわかりませんが（笑）。



——今後就活する学生へメッセージをお願いします。

実は愛和建设が第一志望ではなかったんですよ。他に候補がいろいろあって。でも、自分の希望しているところに絶対に行けるとは限らないので、第一志望でなくてもちゃんと働けるところを選んでほしいと思います。第一志望でなくても就職したら働き続けなければいけないので、そこでやりたいことを企業研究の段階で見つけられたら良いと思います。

——就活する上での譲れない軸はなんでしたか？

ブラック企業じゃないか、という心配があったので、就業時間がちゃんとしているかというところでした。あとは面接してみて、人当たりが良さそうなら良いと思いました。

——ありがとうございました！

蜂谷さんは、高校からずっと建築のことを学んできて、それを活かしながらも日々フィードバックをもらうなどして、目標を持ちながらお仕事をしているんだと感じました。また、社長さんが社員のことをすごく良く考えていて、働いている皆さんも生き生きしていたのが印象的でした。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 久山拓真、金東均、小野寺真雪】

愛和建设株式会社

- ・所在地 山形県山形市北町 3-9-15
 - ・設立 昭和 19 年 4 月
 - ・従業員数 59 名（男性 39 名、女性 20 名）
 - ・事業内容 総合建設業
 - ・URL <https://www.aiwakk.co.jp>
-